



## 友の会に入会して

役員 田中 恒



私が松浦武四郎友の会への入会のきっかけは、飯田会長から、誘いを受け、地元の偉人の功績を世間に広げようとの思いで入会させて頂きました。

入会して 4 年目になり、いろいろな人との出会い、催し物等に参加させて頂ける楽しみも今後何かに役にたてるとの考えで参画することになりました。

毎月の武四郎講座、アイヌ民族料理体験、又、民族工芸品の作品の制作など友の会事業に参加することが楽しみです。昨年は武四郎の足跡を訪ねる旅で北海道へ行き、地元の人との交流などいろいろな体験をさせて頂きました。今年も 10 月 7 日から 10 月 10 日の 4 日間、「平成 30 年松浦武四郎生誕 200 年への会」主催の北海道旅行へ参加しました。最北端宗谷岬等々を巡り、中川町、音威子府村、美深町、名寄市などへの表敬訪問を楽しみにしております。

最後になりますが、来年の武四郎まつり実行副委員長をおおせつかり、微力ですが、皆様の協力を得ながらまつりを成功させていきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

## 北海道最北端地域と天塩川流域へ、松浦武四郎の足跡を訪ねる旅実施

10 月 7 日(月) から 3 泊 4 日で、松浦武四郎生誕 200 年への会主催による旅行が計画され参加者 28 名中、友の会会員 15 名が参加して実施されます。

出発当日は朝 6:00 津港発の高速船に乗り 8:05 セントレア発の全日空機で、9:45 に北海道千歳空港に到着し、足跡を巡る旅です。

北海道では、バスで小平町と天塩町の松浦武四郎銅像。オトンレイなどの大風車群、ノシャップ岬や稚内北防波堤ドーム、稚内公園。日本最北端・宗谷岬、宗谷公園。音威子府村の北海道命名之地標柱、砂澤ビッキ記念館。松浦武四郎天塩川歴史紀行標識である松浦判官佛法僧之地標柱など数多くの見学をします。

この最北端地域こそ松浦武四郎の探査の真骨頂の地であり、ここまで奥深く入ったからこそ、北海道の偉人として称賛されたと云えます。表敬訪問については、交流の糸口を作っていただいた中川町川口町長、音威子府村佐近村長、美深町町長や名寄市教育部長にもお会いして表敬訪問する予定です。

※詳細は、次号に掲載します。



天塩川河口・鏡沼海浜公園



ノシャップ岬の夕日

## アイヌ文化講演及び体験報告

今月の武四郎講座は、記念館と友の会の共催で、9月8日午前10時から約1時間半、アイヌ文化アドバイザーの居壁太氏をお招きし「エカシ、フチの思いを」と題して、講演をしていただきました。

「エカシ」は「おじいさん」、「フチ」は「おばあさん」の意味で、居壁さんは「先祖からずっと伝えてきたアイヌの思いは、周りの人に感謝する考え方。常にありがとうという気持ちを持って、特に年長者、お年寄りを敬い、命を大切にする」と言い、「日本文化の一つとして伝えていきたい」と強調されました。

又、午後はアイヌ文化体験として、居壁太氏、平田幸氏、工藤千秋氏によるアイヌ楽器(トンコリ・ムックリ)の演奏・歌・古式舞踊についてお話を聞くとともに、楽器の演奏、舞踏を楽しみました。

参加された方に感想をいただきました。

### 松浦武四郎記念館文化講座に参加して

### 一般参加 浅田朋子

三重の自然を満喫した旅の帰り、立寄らせていただいた記念館で、思いがけずアイヌ文化の講座に参加させて頂くことになりました。それまでアイヌの方々の文化に触れたことはなかったのですが、当日、アイヌの講師の方々の素晴らしい歌や踊りに出会ってとても楽しい思い出の1頁ができました。元来踊りが好きで趣味で日本舞踊を続けているのですが、講師の先生の歌に身体が動き出し、気がつくと踊りの輪の中に飛び込んでみなさんと心弾ませて踊っていました。

あまりに楽しくて童心に返り、盆を取り合う踊りでは、生来の負けん気が出ていつまでも盆を渡さず相手の方を疲れさせてしまいました。今思うと赤面しますが、心がとても解放されたひとときでした。ほんとうに楽しい体験講座でした。講師の先生方、記念館、友の会の皆様本当にありがとうございました。



最後は皆で輪になって古式舞踊



講演される居壁太さん



ムックリ演奏の平田幸さんと  
工藤千秋さん



トンコリ演奏の居壁太さん

## 市政バス研修報告

恒例となった松阪市内の施設を巡り学ぶバス旅行を9月13日に実施しました。

記念館を出発し、学校給食センター、多気浄水場(南勢水道事務所)、松阪競輪場、歴史民俗資料館を見学しました。競輪場では普段は立ち入ることのできないバンク(競輪場で自転車が走る場所で陸上競技のトラックに相当)を歩き地面の感触を楽しみました。参加された二人の方に感想をいただきました。



給食センター(パルナ)での説明



給食センターの状態



競輪場のバンクを歩く

## 多気浄水場の見学

## 会員 滝川克司

多気浄水場は今まで見学できなかったそうですが最近になってできるようになったそうです。見学は先ず浄水場事務棟の一角に於いて職員の方に多気浄水場の概要などの説明を受けた後、参加者全員で水を浄化する簡単な実験をさせて戴きました。屋外に移り櫛田川から取り入れた水を沈澱池、濾過池で美しく、清潔な飲み水として、最終的に毒物などが混入されていないか検査のうえ生活水として衛生的で安全な水を給水されていることに感心致しました。この生活に欠くことの出来ない大切な水は松阪市、伊勢市、鳥羽市、志摩市、多気町、明和町、玉城町、4市3町の広範囲に亘り送られているとのことでした。

この事業は三重県企業庁の南勢水道事務所が担当されており1日最大138,150 m<sup>3</sup>とお聞きしました。今後も人間生活に欠くことの出来ない大切な水の供給事業に勤めて戴く事を願っております。南勢水道事務所の皆様、有難う御座いました。



浄化の実験

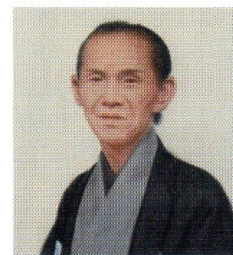
## 多気浄水場の見学

## 一般参加 西岡幸子

9月13日 松浦武四郎記念館友の会主催の研修会(市政バスツアー)にお誘いをいただきましたので、友人と共に参加いたしました。まだまだ残暑厳しい一日でしたが、松阪市学校給食センター(バルランチ)・多気浄水場・松阪競輪場・歴史民俗資料館のコースが準備され、楽しく充実した一日を過ごさせていただきました。本当に有難うございました。各施設には丁寧なご説明をいただきました。

特に多気浄水場での見学が印象に残りましたが、係の方のご好意により水の検査実験に取り組みました。ビーカーの中の水の色が変わる現象に感動しつつ、学生時代の科学室での学友を思い出しました。とても楽しい一時でした。お隣の方、前席の方といっしょに童心にかえって、ワイワイガヤガヤ。まるで級友たちとの交流のようで懐かしい勉強の時間になりました。実験後の説明を通して「このようにして各家庭に、安心な水道水が送られてくる」ということが良く理解できました。今日の研修の成果を生かし、これからも「一滴一滴の水」を大切にしたいと思います。

## 射和文庫 竹川竹斎



嘉永元年(1848年)より竹川竹斎が書籍1万巻、古書画、古物等を収め、「射和文庫書院」を創建する。又地場産業として「射和萬古」、「茶、桑栽培」も興す。文化人・経世家で裏千家第11代玄玄斎精中や勝海舟と親交があり「海防護国論」「護国後論」を著す。

## 誕生地保存会の研修報告

誕生地保存会としても2018年(平成30年)の武四郎生誕200年、没後130年を迎えるにあたり、松阪市内を良く知り、誕生地の案内が出来ることを目指し、一昨年から研修を行っています。

今年は、10月3日に開催し、射和「昔を語る会」の方々の案内で保存会会員24名、その内友の会7名が参加し射和地区の旧跡を巡りました。案内いただきました方々に厚く御礼申し上げます。

竹川家の菩提寺である延命寺や伊馥寺(いふくじ)、本宗寺、竹川家(射和文庫)、宝樹寺、射和寺跡、蓮生寺、竹川竹斎の墓、射和万古窯跡等で詳しい説明を受け大変参考になりました。

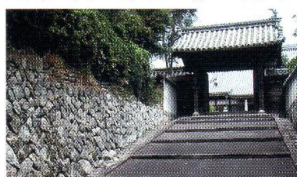
竹川家では座敷に上らせていただき詳しい説明を受け、国分家では屋敷内を拝見し、国宝地像菩薩等普段拝見できないところも見ることが出来ました。

## 俳人 大淀三千風



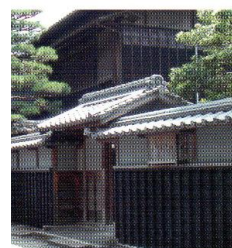
芭蕉と雁行する俳人三千風は寛永16年(1639年)射和に生れる。姓は三井、名は友翰、天和3年(1683年)から元禄2年(1689年)約7年間に三千八百里、北海道を除く六十余州を踏破する大旅行をした。百、二百の句は瞬間に作り、延宝7年(1679年)41歳の時、一昼夜三千句を詠み、自ら三千風と号す。宝永5年(1707年)没、69歳。本宗寺に三井家の墓がある。

## 射和石 伊馥寺



天保の頃まで採石された射和石は、石垣に用いられ石材は軟らかいが積むのに容易で仕上がりが綺麗なので、昔から使用されていた。伊馥寺の石垣は、名工右平の作といわれている。原石は射和地区市民センターから上がった慶徳山で採石された。現在の伽藍(寺)は富山家の寄進により建立。富山家の菩提寺で墓がある。

## 昔の面影をのこす 国分家



四代国分勘兵衛は正徳2年(1712年)現在の茨城県土浦に醤油醸造場を設け、江戸日本橋本町に店を構え、屋号を「大國屋」と称す。商標の土浦亀城の「亀」と屋号の大國屋の大きさをとった「亀甲大」印の醤油が評判となる。銘柄「むらさき」は高級醤油で、今でも料亭、すし屋で醤油のことを「むらさき」という。「K&K」印のブランドは明治41年(1908年)商標登録。



参加者集合写真国分家の前

## 松阪偉人顕彰団体協議会の経過報告

友の会だより 22 号(25 年 7 月発行)にて概要の報告をしましたが、9 月 29 日に松阪市産業振興センターにおいて設立総会が開催されました。

設立総会開催に先立ち、「美し国おこし・三重」の総合プロデューサーである宮本倫明氏が講演し、顕彰団体がチームを組んでますます活発な活動となるよう期待する旨お話され、各地で推進された内容を判り易く解説していただき、今後の活動に大変参考になりました。又、山中光茂市長が来賓として挨拶され、「広く市民を巻き込んでいきたいが『偉人顕彰』と云うと、市民が入りづらい部分もある。例えばファンクラブのような・・武四郎友の会のようなイメージで活動できればいいなあと思う」と話されました。

役員選出の結果、協議会会長には蒲生氏郷公顕彰会会長の高島信彦氏が選ばれました。併せて山中市長には顧問に就任して頂きました。友の会関係では、会長の飯田秀氏及び友の会監事の稲垣良利氏が理事に、副会長の佐波早苗氏が監事に、選ばれました。又、事務局は松阪市教育委員会に置かれることになりました。

協議会発足に伴い、今年の氏郷まつりは協議会として「美し国おこし・三重」の縁博イベントに応募し採用されました。この事業は「わが町の偉人・武将とまちづくり」をテーマに 11 月 2 日～3 日にかけて実施されます。従来の氏郷まつりに加えて、参加している顕彰団体の活動紹介などの展示も行われ、友の会としても活動紹介や武四郎の実績展示などを行います。多くの会員のご参加をお願いします。



記念講演の宮本倫明氏



山中市長の挨拶

### 【松浦武四郎記念館よりのお知らせ】

武四郎講座のご案内 ※下記は予定ですので、変更になる場合があります

- |                    |                         |                       |
|--------------------|-------------------------|-----------------------|
| 11 月 10 日(日) 10 時～ | テーマ：富士信仰と武四郎            | 講師：福永 昭氏(会員・武四郎読む会会長) |
| 12 月 8 日(日) 10 時～  | テーマ：静嘉堂文庫で見つかった武四郎の古物   | 講師：山本命学芸員             |
| 1 月 12 日(日) 10 時～  | テーマ：世にも稀なる蝦夷屏風について      | 講師：山本命学芸員             |
| 2 月 9 日(日) 10 時～   | テーマ：蝦夷屏風の保存修理           | 講師：坂田墨珠堂様             |
| 3 月 9 日(日) 10 時～   | テーマ：明治 17 年の武四郎 甲申日記を読む | 講師：佐藤貞夫氏              |

展示のご案内

- ◆テーマ：武四郎と和歌 12 月 1 日(日)まで  
松浦武四郎はその生涯で多くの和歌を詠みました。武四郎が詠んだ和歌に関する資料を展示し、歌人としても活躍した武四郎の姿を紹介します。
- ◆テーマ：武四郎をめぐる文人たち 12 月 3 日(火) ～ 平成 26 年 2 月 2 日(日)まで  
松浦武四郎は詩歌、書画の世界にも通じ、幕末から明治維新に活躍した多くの文人たちと交流しました。文人としての武四郎の姿と、武四郎と交流のあった文人から武四郎へ贈られた作品もあわせて紹介します。
- ◆テーマ：武四郎をめぐる志士たち 平成 26 年 2 月 4 日(火) ～ 4 月 6 日(日)まで  
ペリー来航など相次ぐ諸外国の来航の中で、尊王攘夷の思想を抱く志士や、幕臣など、幕末に活躍した多くの人物と交流した松浦武四郎。出版活動を行い、志士として活動した姿を紹介します。

### 【友の会よりのお知らせ】

今まで 3 月に行っていました会員交流懇談会を今年度は 12 月の武四郎講座の後に実施します。多くの方の出席及び積極的なご意見・提案をお願いいたします。